

人権問題に関する市民意識調査 【調査票】 (案)

～ 人権に関する市民アンケート ～

いろいろな人権問題についての意識や考え方について

問1 あなたは、次の(1)～(17)の人権問題について、どの程度知っていますか。

1～3のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄		
	知っている 内容をある程度	知っている あることは	知らない
(1) 女性の人権問題 (例) 性別役割分担意識、就労での不当な扱い、DV(配偶者やパートナー間における暴力)	1	2	3
(2) 子どもの人権問題 (例) いじめ、虐待、体罰、児童ポルノ	1	2	3
(3) 高齢者の人権問題 (例) 介護の際の身体的・心理的虐待など	1	2	3
(4) 障害のある人の人権問題【注1】 (例) 店舗でのサービス拒否、就労での不当な扱い、虐待	1	2	3
(5) こころの病(うつ病など)に関する人権問題 (例) 風評による先入観や偏見、プライバシーの侵害	1	2	3
(6) 部落差別(同和問題) (例) 身元調査、結婚や交際における周囲の反対	1	2	3
(7) 日本に居住している外国人の人権問題 (例) 入居拒否、就労での不当な取扱い	1	2	3
(8) ヘイトスピーチ【注2】 (特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動)	1	2	3
(9) HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題 (例) 日常生活での不当な扱い、宿泊拒否	1	2	3
(10) 新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題 (例) 職場や学校などでの差別、誹謗中傷	1	2	3
(11) 犯罪被害者やその家族の人権問題 (例) 無責任なうわさや誹謗中傷、プライバシーの侵害	1	2	3
(12) ホームレスの人権問題 (例) 嫌がらせ、暴力	1	2	3
(13) 性的マイノリティ(LGBTQ+等)の人権問題【注3】 (例) 同性パートナーとの入居拒否、本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められる(アウトティング)	1	2	3
(14) 職業や雇用をめぐる人権問題 (例) 差別待遇、職業や職種に対する偏見	1	2	3
(15) セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント (例) しつように食事に誘う、職場で大声で長時間叱る	1	2	3
(16) インターネットにおける人権侵害 (例) 誹謗中傷、差別を助長するサイトへの書き込み・拡散	1	2	3
(17) ひきこもりの状態にある人の人権侵害 (例) ひきこもりの状態にある人に「怠けてないで働きなさい」と言う	1	2	3

問1-1 あなたが、特に人権上の深刻な問題と考えるものは、問1(1)~(17)の人権問題のうち
のどれですか。(該当する番号を3つ以内記入)

回答欄

()	()	()
-----	-----	-----

【注1】「障害のある人」とは、身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む。）その他の心身の機能の障害がある人で、障害などにより継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある人として用いています。

【注2】「ヘイトスピーチ」とは、一般に憎悪に基づく差別的な言動のことを言いますが、この調査では、特定の人種や民族であることを理由として、日本社会から追い出そうとしたり、人格をおとしめたり、危害を加えようとしたりするなどの不当な差別的言動として用いています。

【注3】「性的マイノリティ」とは、LGBTQ+（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クエスチョニング）など、恋愛や性愛の対象が同性の人や、出生時に判定された性と自認する性が異なる人などの総称として用いています。

問2 あなたは、次の(1)~(19)の行為について、人権上問題があると思いますか。1~5のどれに
該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えば	ないと思う どちらかと言えば	ないと思う	わからない
(1) 職場で顔を合わせるたびに「まだ結婚しないのか」と言う	1	2	3	4	5
(2) しつけのため、子どもに体罰を与える	1	2	3	4	5
(3) 家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする	1	2	3	4	5
(4) 障害のある人をじろじろ見たり、避けたりする	1	2	3	4	5
(5) こころの病のある人には関わらないようにする	1	2	3	4	5
(6) 結婚する際、興信所や探偵業者などを使って相手の本籍地や出生地を調べる	1	2	3	4	5
(7) 同じマンションに住む外国人とは生活文化が異なるので、付き合わないようにする	1	2	3	4	5
(8) 街頭などで、特定の国の出身の人々について、「日本から出て行け」と言う	1	2	3	4	5
(9) HIV感染者やハンセン病回復者とは一緒に食事や入浴をしない	1	2	3	4	5

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えば	どちらかと言え ないと思う	ないと思う	わからない
(10) 新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、タクシーの利用や保育所の受入れなどを断る	1	2	3	4	5
(11) 痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言う	1	2	3	4	5
(12) 公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る	1	2	3	4	5
(13) 職場で性的マイノリティ(LGBTQ+等)であることを公表している人と席が隣になることを嫌がる	1	2	3	4	5
(14) 子育て中の女性を雇用しないようにする	1	2	3	4	5
(15) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱る	1	2	3	4	5
(16) SNS(ラインやフェイスブック、Xなど)など、インターネットのサイトに他人への誹謗中傷(ひぼう)を書き込む	1	2	3	4	5
(17) 住民の緊急時連絡先や疾病、障害の有無などを他の住民に言いふらす	1	2	3	4	5
(18) ニートや引きこもりの人に「怠けていないで働きなさい」と言う	1	2	3	4	5
(19) 本人に断りなく、恋人や配偶者・パートナーの携帯電話やスマートフォンの通信履歴を見る	1	2	3	4	5

住まいのことや就職、結婚相手・パートナーに対する意識や考え方について

問3 あなたが家を買ったり借りたりする際に重視する(した)立地条件は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス	6. 校区の教育水準や学力レベルの評判
2. 周辺の公共施設や商業、医療施設、公園や緑地などの状況	7. 低所得者が多いと言われていないか
3. 日照・眺望など	8. 外国人市民が多いと言われていないか
4. 周辺の住宅の状況(戸建て/集合、持ち家/賃貸など)	9. 同和地区があると言われていないか【注4】
5. 地域のイメージ	10. その他()

問3-1 採用面接における質問で、次の項目の内容を聞くことは、人権上問題があると思いますか。(○はいくつでも)

1. 国籍	7. 支持政党
2. 本籍地・出生地	8. 人生観や生活信条
3. 家族の状況(職業、続柄、健康、地位、学歴、年収、資産など)	9. 尊敬する人物
4. 住宅の状況(住宅の種類、間取り、部屋数、近隣の施設など)	10. 労働組合、学生運動など社会運動の経験
5. 生活(家庭)環境	11. 購読新聞、雑誌、愛読書など
6. 宗教	12. その他()

問3-2 あなたが、結婚相手やパートナーについて重視する(した)ことはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 人柄や性格	11. 離婚歴
2. 容姿	12. 本籍・出生地
3. 趣味や価値観	13. 国籍、民族
4. 仕事に対する理解と協力	14. 相手やその家族が障害のある人かどうか
5. 家事や育児に対する理解と協力	15. 相手やその家族の宗教
6. 経済力	16. ひとり親家庭かどうか
7. 学歴	17. 同和地区の出身であると言われていないかどうか【注4】
8. 職業	18. 性的指向
9. 家族構成	19. その他()
10. 家柄	

【注4】「同和地区」について

我が国では部落差別の解消に向け、昭和44年(1969年)の「同和对策事業特別措置法」施行以来、平成14年(2002年)に「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下、「同法」という。)が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組みが積極的に進められてきました。

この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、同法によって指定されていた対象地域を示しています。

ここ5年間の人権をめぐる法律や条例の施行、及びこれらに関する人権問題について

問4 あなたは、障害のある人に関して、次の(1)～(10)に見られるような人権上の問題などが現在あると思いますか。1～5のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えば	ないと思う どちらかと言えば	ないと思う	わからない
(1) 道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすい配慮が足りないこと	1	2	3	4	5
(2) 仕事に就く機会が少なく、また、障害のある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと	1	2	3	4	5
(3) 障害のない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	1	2	3	4	5
(4) 障害のある人が賃貸住宅などへ入居することが困難であること	1	2	3	4	5
(5) 病院や福祉施設において劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	1	2	3	4	5
(6) 音声案内や字幕など、情報を分かりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	1	2	3	4	5
(7) 障害があることを理由とした宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	1	2	3	4	5
(8) 障害のある人の意見や行動が尊重されないこと	1	2	3	4	5
(9) スポーツ活動や文化活動への参加に対する配慮がなされていないこと	1	2	3	4	5
(10) 優先座席やヘルプマーク等、障害のある人や配慮を要する人が利用する設備等について、周りの人に知識や理解がないこと	1	2	3	4	5

問5 あなたは、日本に居住している外国人に関して、次の(1)～(9)に見られるような人権上の問題などが現在あると思いますか。1～5のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えは	ないと思う どちらかと言えは	ないと思う	わからない
(1) 就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること	1	2	3	4	5
(2) 賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(3) 店舗への入店、宿泊施設等の利用を拒否されること	1	2	3	4	5
(4) 結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること	1	2	3	4	5
(5) 子どもに対して、自国の文化や生活習慣に合った教育が行われにくいこと	1	2	3	4	5
(6) 文化や生活習慣の違いを理由とする嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
(7) 病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと	1	2	3	4	5
(8) 特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動(ヘイトスピーチ)があること	1	2	3	4	5
(9) 政治・行政の施策に意見が十分反映されないこと	1	2	3	4	5

問6 あなたは、部落差別(同和問題)に関して、次の(1)～(8)に見られるような人権上の問題などが現在あると思いますか。1～5のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えは	ないと思う どちらかと言えは	ないと思う	わからない
(1) 就職の時や職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(2) 地域の活動や付き合いで嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
(3) 結婚等で身元調査をされること	1	2	3	4	5

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言え ば	ないと思う どちらかと言え ば	ないと思う	わからない
(4) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	1	2	3	4	5
(5) インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	1	2	3	4	5
(6) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	1	2	3	4	5
(7) 差別的言動をされること	1	2	3	4	5
(8) 同和問題を口実とする企業や官公庁等に対する不当な要求(えせ同和行為)が行われること	1	2	3	4	5

問7 あなたは、性的マイノリティ(LGBTQ+等)に関して、次の(1)~(9)に見られるような人権上の問題などが現在あると思いますか。1~5のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言え ば	ないと思う どちらかと言え ば	ないと思う	わからない
(1) 性的マイノリティ(LGBTQ+等)への理解や認識が不足していること	1	2	3	4	5
(2) 学校や職場などで嫌がらせやいじめを受けること	1	2	3	4	5
(3) 就職の時や職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(4) 性的マイノリティ(LGBTQ+等)に対する相談や支援体制が十分でないこと	1	2	3	4	5
(5) 賃貸住宅などへの入居を拒否されること	1	2	3	4	5
(6) 店舗への入店、宿泊施設等の利用を拒否されること	1	2	3	4	5
(7) 本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められること(アウティング)	1	2	3	4	5
(8) パートナーがいても、婚姻と同等に扱われないこと	1	2	3	4	5
(9) じろじろ見られたり、避けられたりすること	1	2	3	4	5

問8 あなたは、次の(1)～(14)の法律や条例等についてどの程度知っていますか。1～3のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄		
	知っている 内容をある程度	知っている あることは	知らない
(1) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)	1	2	3
(2) 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)	1	2	3
(3) 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)	1	2	3
(4) 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律(LGBT理解増進法)	1	2	3
(5) 特定電気通信による情報の流通によって発生する権利侵害等への対処に関する法律(情報流通プラットフォーム対処法)	1	2	3
(6) 大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例(大阪府障がい者差別解消条例)	1	2	3
(7) 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例(大阪府性の多様性理解増進条例)	1	2	3
(8) 大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例(大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例)	1	2	3
(9) 大阪府インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例	1	2	3
(10) 枚方市人権尊重のまちづくり条例	1	2	3
(11) 枚方市男女共同参画推進条例	1	2	3
(12) ひらかた・にじいろ宣言(パートナーシップ宣誓制度導入等)	1	2	3
(13) 枚方市子どもを守る条例	1	2	3
(14) 手話でつむぐ住みよいまち枚方市手話言語条例	1	2	3

新型コロナウイルス感染症等新たなウイルス等における人権侵害の問題について

問9 あなたは、新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症の患者等について、次の(1)～(8)のような人権上の問題などがあると思いますか。1～5のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えば	ないと思う どちらかと言えば	ないと思う	わからない
(1) 患者や感染者、その家族等が差別的な発言や行為を受けること	1	2	3	4	5
(2) 医療従事者やその家族が差別的な発言や行為を受けること	1	2	3	4	5
(3) マスメディアやSNS(ラインやツイッターなど)で興味本位の不確かな情報が拡散されること	1	2	3	4	5
(4) 患者や感染者等のプライバシーが守られないこと	1	2	3	4	5
(5) 就職・職場・学校等において不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(6) 患者や感染者、家族等のための相談・支援体制が十分でないこと	1	2	3	4	5
(7) 新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症等に関する正しい知識について学校や会社などで十分に扱われていないこと	1	2	3	4	5
(8) 新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症の陽性者の住所を関係機関に問い合わせるなど、公表されていない陽性者の情報を調べること	1	2	3	4	5

インターネットにおける人権侵害の問題について

問10 あなたは、インターネットに関して、次の(1)～(11)に見られるような人権上の問題などが現在あると思いますか。1～5のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えば	ないと思う どちらかと言えば	ないと思う	わからない
(1) 他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること	1	2	3	4	5

	回答欄				
	あると思う	あると思う どちらかと言えば	どちらかと言え ないと思う	ないと思う	わからない
(2) フェイクニュース(真実ではない情報)や誤った情報が拡散されること	1	2	3	4	5
(3) SNS(ラインやフェイスブック、Xなど)による交流が犯罪を誘発する場となっていること	1	2	3	4	5
(4) インターネットが悪質商法の取引の場となっていること	1	2	3	4	5
(5) 子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していること	1	2	3	4	5
(6) 差別を助長するような情報が掲載されること	1	2	3	4	5
(7) わいせつな画像や残虐な画像などの情報が掲載されること	1	2	3	4	5
(8) 捜査対象となっている未成年者の名前・顔写真が掲載されること	1	2	3	4	5
(9) 問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること	1	2	3	4	5
(10) 問題のある情報を書き込んだ人を特定するための手続きに時間がかかること	1	2	3	4	5
(11) SNSや検索サイトなどで、自分の好みや関心に合う情報はかりが表示され、考え方や意見が偏るおそれがあること	1	2	3	4	5

人権や差別に関する考え方について

問 11 人権や差別をめぐっていろいろな考え方がありますが、(1)~(13)の考え方について、1~5のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄				
	そう思う	そう思う どちらかと言え ば	どちらかと言え ば そう思わない	そう思わない	わからない
(1) 差別は人間として恥すべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない	1	2	3	4	5
(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要である	1	2	3	4	5

	回答欄				
	そう思う	そう思う どちらかと言え ば	どちらかと言え ば そう思わない	そう思わない	わからない
(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5
(5) 差別をなくすためには、行政によるさらなる啓発が必要である	1	2	3	4	5
(6) 差別をなくすためには、子どものうちからの教育が重要である	1	2	3	4	5
(7) 差別をなくすためには、行政だけでなく市民団体の取り組みも必要である	1	2	3	4	5
(8) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である	1	2	3	4	5
(9) 差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要である	1	2	3	4	5
(10) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5
(11) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(12) 人権問題とは、差別を受ける人の側の問題であって、自分には関係がない	1	2	3	4	5
(13) 目の前で差別発言などを聞いても、何もしないことは特に問題はない	1	2	3	4	5

人権問題の解決に向けた行政の取り組みについて

問 12 あなたは、人権問題の解決に向けた次の(1)～(8)の行政の取り組みについて、見聞きする(した)ことがありますか。1～4のどれに該当しますか。(○は各1つ)

	回答欄			
	よく見聞きする	たまに見聞きする	あまり見聞きしない	ほとんど見聞きしない
(1) 街頭での啓発や啓発ポスター、デジタルサイネージでの掲示	1	2	3	4

	回答欄			
	よく見聞きする	たまに見聞きする	あまり見聞きしない	ほとんど見聞きしない
(2) 新聞・テレビ・ラジオによる広報	1	2	3	4
(3) 広報誌、啓発冊子、教育教材	1	2	3	4
(4) 講演会・研修会【注5】	1	2	3	4
(5) ホームページ、フェイスブック、X、ラインによる情報発信	1	2	3	4
(6) 人権相談窓口の開設【注5】	1	2	3	4
(7) インターネット上のトラブル専門相談窓口の設置【注6】	1	2	3	4
(8) 戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度（本人通知制度）【注7】	1	2	3	4

【注5】枚方市では、講演会などの人権啓発事業や、人権相談事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し実施しています。また、市役所において、人権擁護委員による相談（毎週月曜午前中）を実施しています。

【注6】大阪府では、インターネットによる誹謗中傷やトラブルの相談窓口「ネットハーモニー」（06-6760-4013）を設置しています。

【注7】第三者による不正請求の早期発見や事実関係の早期究明につなげるための制度です。窓口は市役所市民生活政策課です。

人権について学ぶための機会について

問 13 あなたは、学校で、次の(1)～(18)にあげる人権問題に関する学習を受けたことがありますか。1～6のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

	回答欄(○はいくつでも)					
	小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学、短大、専門学校で受けた	はつきりと覚えていない	受けたことはない
(1) 女性の人権問題	1	2	3	4	5	6
(2) 子どもの人権問題	1	2	3	4	5	6

	回答欄(○はいくつでも)					
	小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学、短大、 専門学校で受けた	はつきりと 覚えていない	受けたことはない
(3) 高齢者の人権問題	1	2	3	4	5	6
(4) 障害のある人の人権問題	1	2	3	4	5	6
(5) こころの病に関する人権問題	1	2	3	4	5	6
(6) 部落差別(同和問題)	1	2	3	4	5	6
(7) 日本に居住している外国人の人権問題	1	2	3	4	5	6
(8) ヘイトスピーチ	1	2	3	4	5	6
(9) HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	1	2	3	4	5	6
(10) 新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題	1	2	3	4	5	6
(11) 犯罪被害者やその家族の人権問題	1	2	3	4	5	6
(12) ホームレスの人権問題	1	2	3	4	5	6
(13) 性的マイノリティ(LGBTQ+等)の人権問題	1	2	3	4	5	6
(14) 職業や雇用をめぐる人権問題	1	2	3	4	5	6
(15) セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	1	2	3	4	5	6
(16) インターネットによる人権侵害	1	2	3	4	5	6
(17) ひきこもりの状態にある人の人権侵害	1	2	3	4	5	6
(18) その他()	1	2	3	4	5	6

問14 あなたは、今後、人権問題への理解を深めるため、講演会や研修会のテーマとして取り上げてほしいものがありますか。(○はいくつでも)

1. 女性の人権問題
2. 子どもの人権問題
3. 高齢者の人権問題
4. 障害のある人の人権問題
5. こころの病に関する人権問題
6. 部落差別(同和問題)
7. 日本に居住している外国人の人権問題
8. ヘイトスピーチ
9. HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題
10. 新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題
11. 犯罪被害者やその家族の人権問題
12. ホームレスの人権問題
13. 性的マイノリティ(LGBTQ+等)の人権問題
14. 職業や雇用をめぐる人権問題
15. セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント
16. インターネットによる人権侵害
17. ひきこもりの状態にある人の人権侵害
18. その他()
19. 特になし ※この項目を選択すると他の項目は選択できません

人権侵害について

問15 あなたは、最近5年間に人権上問題と思われる言動を受けたり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない → 問16(P17)へ



問15-1 それはどのような人権問題に関するものでしたか。(○はいくつでも)

1. 女性の人権問題
2. 子どもの人権問題
3. 高齢者の人権問題
4. 障害のある人の人権問題

5. こころの病に関する人権問題
6. 部落差別(同和問題)
7. 日本に居住している外国人の人権問題
8. ヘイトスピーチ
9. HIV 感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題
10. 新型コロナウイルス等新たなウイルス等感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題
11. 犯罪被害者やその家族の人権問題
12. ホームレスの人権問題
13. 性的マイノリティ(LGBTQ+等)の人権問題
14. 職業や雇用をめぐる人権問題
15. セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント
16. インターネットによる人権侵害
17. ひきこもりの状態にある人の人権侵害
18. その他()

問 15-2 前問の問 15-1 で選んだ人権問題のうち、一番心に残っているものは何番ですか。

回答欄 () 番  それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

1. 差別的な扱い(人種・信条・性別・社会的身分・出生地等により、職業・雇用や結婚等の社会生活の上で不平等又は不利益な扱いをされた)
2. 学校、地域における嫌がらせやいじめ
3. 差別的な言動、誹謗中傷、あらぬうわさ
4. 育児や介護の放棄・放任
5. 虐待
6. 暴力行為、脅迫、強要
7. DV(配偶者やパートナー間における暴力(精神的・経済的・社会的・子どもを巻き込む・性的も含む))
8. 職場におけるハラスメント(セクハラ・パワハラ等)
9. プライバシーの侵害
10. インターネットによる人権侵害
11. 答えたくない ※この項目を選択すると他の項目は選択できません
12. その他()

問 15-3 それはあなた自身に対するものでしたか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ → 問 15-5Aへ

問 15-4A どう対応しましたか。(○は1つ)

1. 抗議、反論した

2. 相談した(どこに、誰に:)

3. 訴えた(どこに:)

4. 我慢した

5. その他()

問 15-4B 最終的に解決しましたか。(○は1つ)

1. 解決した

2. 解決しなかった

3. その他()

問 16 (P17) へ

問 15-5A どう対応しましたか。(○は1つ)

1. いけないことだと指摘した

2. いけないことだと分かってもらおうとした

3. 相談(通報)した(どこに、誰に:)

4. 同調した

5. 話をそらした

6. 何もしなかった

7. その他()

問 15-5B そのような問題(事案)は、どのように対応したらよいと考えますか。(○はいくつでも)

1. さまざまな人権問題をめぐる誤解や偏見、差別をなくし、一人ひとりの人権意識を高めるために、行政が正しい知識と理解を深める人権啓発に努める

2. 人権侵害を受けた当事者が救済されるよう人権課題に対応する専門の相談機関・相談窓口の充実を図る

3. 人権侵害を受けた当事者自らが解決策を講じる

4. 発達段階に応じた学校における人権教育や、地域や職場における人権研修を充実させる

5. 特に何もしなくてよい ※この項目を選択すると他の項目は選択できません

6. その他()

最後に、あなたご自身のことについてお聞きします

問 16 あなたの性別は。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|------------------|---------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 男性・女性では答えられない | 4. 答えない |
|-------|-------|------------------|---------|

問 17 あなたの年齢(6月1日現在の満年齢)は。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18、19 歳 | 6. 40～44 歳 | 11. 65～69 歳 |
| 2. 20～24 歳 | 7. 45～49 歳 | 12. 70～74 歳 |
| 3. 25～29 歳 | 8. 50～54 歳 | 13. 75～79 歳 |
| 4. 30～34 歳 | 9. 55～59 歳 | 14. 80 歳以上 |
| 5. 35～39 歳 | 10. 60～64 歳 | |

問 18 あなたが日常的にもっとも利用するメディアは。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 1. 新聞 | 4. ラジオ |
| 2. 書籍、雑誌 | 5. インターネット(パソコン・スマートフォン等、SNS を含む) |
| 3. テレビ | 6. その他() |

問 19 人権問題や今後の人権教育・啓発、人権擁護についてご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

--

アンケートはこれで終わりです。

ご協力、誠にありがとうございました。